

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第76号 平成23年4月28日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 佐伯晴子
発行責任者 南 圭三郎

目次

日本農業の持続的発展に向けて	p.1
農家さん訪問記 (60)	p.2
住友化学アグログループ紹介 住友化学園芸(株)	p.6
今月の肥料紹介	p.7
今月のお奨め農薬	p.8
今月のご相談から	p.9
お役立ちプチ情報	p.10
農薬登録情報	p.11
病害虫発生情報	p.13
アンケート当選者発表	p.13
最近の「お・美味い！」	p.14
編集後記	p.15



イカル(アトリ科)とアメリカけみズキ(ミズキ科)
富樫 信樹 画

日本農業の持続的発展に向けて

住友化学(株)常務執行役員
西本 麗

3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。福島原子力発電所問題でも多くの方々が影響を受けておられますが、事態の一日も早い収束を祈念しています。

今回の大震災、原発問題で東北・北関東の農業も大きなダメージを受けており、その影響を短期間で克服することが極めて困難であると懸念されています。また日本の農産物・食品を中心に輸出への影響も出始めるなど、日本の農業にとってまさに正念場を迎えています。

昨年秋以降、TPP等貿易自由化の議論の中で日本農業の将来について様々な意見が出ていましたが、今回の事態でそのような議論が吹き飛んでしまいました。

ただ、今後日本農業が持続的に発展をしていくためには、短期的な災害克服の問題だけでなく、中長期的な農業政策の在り方、競争力強化の取組み等の議論もしていく必要があります。基本は日本の食糧安全保障のために農業がいかに競争力を向上させ、魅力ある産業として就労者を惹きつけ、持続的に発展していけるかです。そのための施策を真剣に議論し、果敢に実行していくことに尽きると思います。

住友化学はグループを挙げて、農薬・肥料等の各種農業資材の開発・販売だけでなく、農業経営支援システムや新たな栽培システムのご提案を通じて個別農家や農業法人の皆様にお役に立てる製品・技術・サービスの提供に引き続き努めてまいります。また地域農業振興のために農業法人の設立・運営や農産物販売の強化等にも取り組んでいます。

これからも、日本の企業として日本農業の発展に貢献できるようグループを挙げて取り組んでまいります。



[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記(60)

今回の農家さん訪問記では福岡県八女郡広川町を訪ね、色とりどりのガーベラを育てる緒方久幸さん(62歳)にお話を伺いました。(取材日2月21日)

魅力あるガーベラ作りに邁進する緒方さん

緒方久幸さん(右)と娘婿の和馬さん(左)

取材当日は、2月だというのに春を感じさせるポカポカと暖かな日でした。八女郡広川町は福岡市内から車で1時間ほど南下した場所にあります。福岡県は、ガーベラをはじめ、きく、ばら、ゆり、トルコギキョウなどの花き栽培が盛んで、全国有数の花き生産県です。訪れた八女郡は、お茶どころとして有名ですが、花き栽培も盛んな地域のように、車窓から花き栽培ハウスがあちこちに点在しているのを見えました。車が九州自動車道の広川インターを降りてしばらくすると緒方さん宅に到着しました。

緒方さんはガーベラなどの花を育てる花き農家さんです。ご家族は、緒方さんのお父さん、緒方さん夫婦、娘さん夫婦とお孫さんの6人家族です。そのうち実際の農作業は緒方さん夫婦と娘婿の和馬さんの3人で行い、その他に2名のパートさんが手伝ってくれています。緒方さんは、もともとJAの職員をしていましたが、25年ほど勤めたところで43歳の時に退職し就農しました。JAではいちごの指導員をしていましたが、JAの中で花の部会を作る際に花きを担当する人がいなかったのと、いちごの指導員に後継者ができたため、とりあえず次の人になるまでの「つなぎ」として花き担当者となりました。そこへ、ふくれん(当時のJA福岡園芸連)が主催する花き担当者のためのヨーロッパ研修(オランダ)に行く機会を得て参加したところ、ヨーロッパでの花き栽培のスケールの大きさや、ロックウール栽培など最先端の技術に感動したのだそうです。それで、どうしても花き栽培をしたくなって、もともとお父さんがいちご栽培をしていた土地もあったことも幸いして本格的な花き栽培の道に入ったとのこと。

多種多様な品種栽培！

そんな緒方さんの花き栽培についてです。緒方さんは主にガーベラを育てていますが、そのほかにもナルコユリ、スカシユリと呼ばれる球根から育つユリを栽培しています。栽培面積はガーベラが約58アール、ナルコユリ、スカシユリは約8.3アールほどだそうです。(今回の取材では主にガーベラについてお話を伺ったので、以後、話題をガーベラに絞らせていただきます。)

緒方さんは、ガーベラを土耕栽培(約20アール)と養液栽培(約38アール)で育てています。定植は4月から6月の間に



大きな花き栽培ハウス

順次行い、約2ヶ月経てば収穫が始まります。その後、驚くことに、1回植えれば土耕栽培なら同じ株から2年ほど、養液栽培なら3年ほど、ずっと収穫し続けることができるのだそうです。そのため、緒方さんはほぼ一年中ガーベラの栽培・収穫作業をしていることになります。

緒方さんが育てている品種は「30種類ほど」と実に多種多様です。ガーベラは大きさから大輪・中輪・小輪に分類され、形から八重・半八重・一重・スパイダー（花びらが糸状）・パスタ



珍しい品種「ディズニー」

(花びらがパスタ似)等に分類されます。また、花の芯の色も緑のものと黒いものとで分かれるようで、それらが様々に組み合わせられて品種ができるので、なるほど品種も多くなるわけです。これらはほぼすべて花き先進国オランダからの輸入品種で、一部に日本の商品名をつけて販売しています。これだけ種類があっても全て違う名前がつけられているというのですから驚きです。緒方さんの育てる品種のうち、メインは日本名で「サクラ」「ウララ」と呼ばれるピンク系でブライダルで人気だそうです。また、緒方さん独自の栽培品種に「ディズニー」と呼ばれるピンク系で芯の黒い八重品

種がありますが、これはオランダ本国ではもう栽培しておらず、それだけ希少と言えます。

緒方さんの行う養液栽培：

底の空いているポットにガーベラの苗を植えてセラミックの「れき」に埋めたところに、肥料(養液)と水を滴下して栽培する方法



ポットの底はこのとおり



これが「れき」

難しい養液施肥のマスターが目標

次に栽培上の苦労話を伺いました。まず、病害虫についてですが、病気では疫病に困っているとのこと。疫病は連作すればするほど出る病気で、特に土耕栽培での防除が難しいそうです。クロルピクリンによる土壌消毒が有効ですが、普及所で新たに施用方法を工夫したと聞き、そういった新しい防除も試してみたいとのことでした。また、害虫については、アブラムシ、ダニ、オンシツコナジラミ、スリップス、ハモグリバエなど「ひとつおりの虫がつく」とのことです。中でも困りものはハモグリバエとのこと。対策としてアフーム、パダンなどの薬剤で対応しているそうですが、なかなか難しいとのことでした。

次に、やはり栽培に不可欠な肥料についても聞きました。土耕栽培では、独自に配合した有機質肥料(動物有機や油粕の入ったもの)を使い、追肥として「養液土耕1号・3号」を使っているとのこと。また養液栽培では「タンクミックスA・B」を使用しています。緒方さんいわく、この「施肥」がとても難しいとのこと。肥料そのものの配合も難しければ、その養液をどういう間隔で、どのくらいずつ施肥するかというのも難しいそうで、養液栽培を始めてまだ5年しか経っていない緒方さんは、「まだ技術的にマスターするに至っていない」と言います。そのため、技術をマスターすべく、レベルの高い静岡県のJAハイナンまで勉強しに行ったりしているそうです。ただ、静岡県は地理的にも遠く、近くにそういった勉強させてくれるような場所が無いのも難点とのこと。

大忙しのパッキングセンター

さて、花き農家さんの経営って、なかなか聞くことはできません。そのあたりも聞いてみました。緒方さんは年間150万本を出荷し、年間粗収入は約5,000万円とのこと。ここから経費として重油代500万円、種苗代(植え替えのタイミングによりますが)平均約400万円、肥料、農薬で約270万円、これに加えて台風の多い九州でこれに耐えうる屈強な軽量鉄骨ハウスの費用もかかります。

また個人でかかる経費と別に、共同パッキングセンターの経費も大きいとのこと。緒方さんは、JA福岡八女花卉部会広川支部のガーベラ部(12名)に所属していますが、この部会では年間約1200万本のガーベラを出荷しています。これらは全量共選で出荷するため、部会でJAの集荷場施設のパッキングセンターを運営しています。ここにかかる経費には、集荷場の利用料、ここで働くパートさんの人件費(約30名)、梱包のための資材代、輸送代(遠くは仙台まで)などがあり、ガーベラ1本につき8円の経費がかかるとのことです。パッキングセンターを実際に見せてもらいましたが、ここでは(品種によりますが)一本一本キャップと呼ばれるビニール製のものが花を保護するためにつけられた後、花の長さを揃えて10本にまとめたもの5つで1纏めされる形でパッキングされます。朝9時から始まる作業は、その日に入ってきたガーベラが終わるまで続くそうで、忙しい3~4月などは作業が夜10時頃まで及ぶこともあるそうです。実際に色とりどりのガーベラがパートさんたちの手によって次々とパッキングされている様子は圧巻でした。



次々とパッキングされています



パッキング後のお花たち
(部会で育てている品種はなんと150~170種類!)

朝9時から始まる作業は、その日に入ってきたガーベラが終わるまで続くそうで、忙しい3~4月などは作業が夜10時頃まで及ぶこともあるそうです。実際に色とりどりのガーベラがパートさんたちの手によって次々とパッキングされている様子は圧巻でした。

娘さん夫婦と一緒に

さて、そのパッキングセンターを後にした取材班は、緒方さんの自宅からすぐの場所にあるハウスまでやってきました。ハウスの周りにはブロック塀が積まれていました。これは、一昨年のゲリラ豪雨で近くを流れる広川が氾濫し、土耕栽培はおろか養液栽培の苗も水に漬かって全滅してしまったため、その後で作ったとのこと。川の氾濫は一度では無いそうです。それでもめげない緒方さんの情熱に頭が下がります。

ハウスの中に入ると、思わず気分が明るくなるような可愛らしい花々が咲き誇っていました。そんな中にテキパキと作業をこなしている娘婿の和馬さんの姿がありました。「将来の夢は何ですか?」と緒方さんにたずねたとき、「しっかりした後継者もいるので安心して譲れます」と答えが返って来たのですが、まさにその未来の光景がそこには広がっていたのでした。嬉しいことに今は育児中の娘さんもいずれ農作業に加わる予定とか。また、緒方さんは青色申告をして、家族にも専従者給与も支払っているとのこと。しっかりとした経営体制があってこそ、後継者も安心して働けるのかもしれない。



ハウスの外にあるブロック塀



ハウスの中は見事なお花畑！

最後に、休日の過ごし方について聞いてみました。一年中栽培作業をしているとはいえ、パッキングセンターの休みを日曜日に設定しているため、実質的には土曜日のお昼から日曜日は毎週しっかり休むことができるということです。JAの職員をしていた頃「日曜日は休みなさい」と指導してきたこともあり、自分もちゃんと休まないと・・・と笑う緒方さん。休日はあちこち出かけてリフレッシュしているそうです。先日も佐賀まで出かけて美味しい焼き牡蠣を食べたとか（羨ましい！）でも、ガーベラはこれからがもっとも忙しくなる時期です。ゆっくり休める休日も今のうちかもしれません。

あしがき・・・

4月18日はガーベラ記念日だそうです。日本で初めてガーベラの品種が誕生した日であり、またこの時期はガーベラの出荷最盛期であること、4と18で良い花(よいはな)と語呂合わせができることなどで、この日が記念日となったそうです。緒方さんの住む広川でもサービスエリアにガーベラを飾ったり、福岡の地下鉄で無料配布をしてみたりと、今までもいろんなイベントをしてきたそうです。今年もあちこちでガーベラの可愛い姿を見ることが出来たのではないのでしょうか。これから本格的に春を迎える季節となります。待ちに待った春の到来を、色とりどりのガーベラで感じてみませんか？

今回の取材は、ローム農研 社長 荒木進様のご協力で実現しました。ご協力有難うございました。（佐伯・南）



収穫間近のガーベラ

[目次へ戻る](#)



住化アグログループ紹介

不快害虫
忌避剤

天然系成分が効く！
まくだけでナメクジをよせつけない

ナメ退治 忌避粒剤

生活害虫防除剤協議会登録 [成分・性状] 鉱物質に天然系置換フェノールを吸着させた淡黄色顆粒

まくだけで、よせつけない！

パラパラとまくだけのナメクジ忌避剤です。
殺虫剤による駆除とは異なり、気持ち悪いナメクジの死骸が目につれにくい、忌避目的の商品です。

むらなくまける！

細かな顆粒で、むらなくまけるので、より効果的にナメクジの侵入を防ぎます。目立たないため美観を損ないません。

天然系成分使用！

ハーブなどの植物にも含まれる天然系成分を使用し、イヤな臭いも少なく、犬・猫がいる場所でも使えます。

カビが生えない！

有効成分の性質上、カビが発生せず衛生的です。



500g 入



1kg 入

効果のある不快害虫	使用場所	使用量の目安
ナメクジ、カタツムリ	庭、ベランダ、床下など ナメクジが発生する場所	100 ~ 150g/m ²

【使用方法】

ナメクジをよせつけない場所に均一に散布、又は帯状に散布します。

使用量はナメクジの発生量に応じて加減してください。

効果持続期間は 水のかからない条件で約 1 カ月間です。使用状況、気温、湿度などの条件により、持続期間は変動します。

効果を高めるために継続的に使用してください。

【注意】

- ・本品はナメクジ、カタツムリの忌避を目的とします（殺虫目的ではありません）。
- ・植物にかからないように注意してください。また、それらの植物を植えてある鉢や株元に飛散・流入させないでください。

ナメ退治忌避粒剤のお問い合わせは・・・住友化学園芸 (株) 電話 03-3270-9695 まで

今月の肥料紹介 **夏の高温にも負けない、倒伏軽減剤入り元肥一発肥料**

昨今異常気象が続いています。昨年は特に、低温による初期生育不良、入梅後の高温・日照不足による節間伸張、登熟期の高温による品質低下など、例年以上にその影響が見られました。そんな中、楽一施用圃場では安定した倒伏軽減効果、品質、収量を実現できました。ぜひ一度、楽一の効果をお試ください。



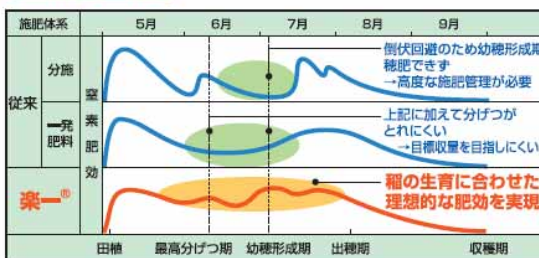
楽一®のここがスゴイ

- ①倒伏軽減剤入り基肥一発肥料
- ②肥培管理を楽にするために開発
- ③安定した作柄、安心できる
- ④米の品質向上、くず米の減少が期待できる
- ⑤側条施用銘柄も充実
(楽一®20S・楽一®20W・楽一®27)

●銘柄一覧 容量：15kg袋

銘柄	N-P-K	ウニコナ ゾールP(%)	全層	側条	登録番号	
					肥料	農薬
楽一21	21-11-10	0.004	○	—	86573	21557
楽一18	18-12-12	0.004	○	—	90142	22450
楽一25	25-10-8	0.004	○	—	86574	21558
楽一27	27-10-7	0.004	○	○	86575	21559
楽一20S	20-11-11	0.002	○	○	86572	21560
楽一20W	20-12-12	0.003	—	○	90143	22451

肥効イメージ (平坦部・コシヒカリの場合)



住友化学株式会社
アグロ事業部 肥料営業部

〒104-8260 東京都中央区新川二丁目27-1
TEL: (03) 5543-5783 FAX: (03) 5543-5944

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

施設栽培野菜の害虫防除に

ベストガード水溶剤・粒剤

春先の気温上昇に伴い施設栽培では施設を開放する機会が増えるため、病害虫の施設への侵入や施設から野外への飛び出しについての注意が必要です。

ウィルス病^{*})を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の施設への侵入或いは施設から野外への飛び出しの防止には施設の開口部に防虫ネットを設置する等の耕種的対策が有効です。そして、一度施設に侵入してしまったアザミウマ類、コナジラミ類の防除にはベストガード水溶剤がお奨めです。

^{*})アザミウマ類、コナジラミ類が媒介する主なウィルス病：

- ・トマト黄化葉巻病(タバココナジラミが媒介)
- ・キュウリ/メロン退緑黄化病(タバココナジラミが媒介)
- ・キュウリ黄化えそ病(ミナミキイロアザミウマが媒介)

ベストガード水溶剤・粒剤の有効成分ニテンピラムはネオニコチノイド(クロロニコチル)系の殺虫剤です。昆虫の神経系に作用して殺虫効果を発揮します。ニテンピラムは植物への浸透移行性に優れており、また食毒(経口)でも接触毒(経皮)でも殺虫効果を発揮します。

【ベストガード水溶剤・粒剤の特長】

- 1) 吸汁性害虫に高い効果
アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類等の吸汁性害虫に対して高い防除効果があります。
- 2) タバココナジラミ バイオタイプQにも高い効果
タバココナジラミには遺伝子の異なる系統が多数確認されていますが、従来のコナジラミ防除剤の一部に抵抗性を持つバイオタイプQにも安定した高い効果があります。
- 3) 浸透移行性やトランスラミナー効果に優れる
浸透移行性に優れ、処理した部分以外にも成分が移行し、安定した高い殺虫効果を発揮します。また、水溶剤は成分が葉表から葉裏に移行するトランスラミナー効果も兼ね備えています。粒剤は定植時植穴処理、育苗期(或いは育苗期後半)株元処理および生育期株元処理で地上部(茎葉)の害虫に長期間防除効果があります。
- 4) 作物への薬害の心配が少ない
野菜、果樹、稲、花き類等幅広い作物に適用があり、幼苗期に使用しても薬害の心配が少ない薬剤です。
- 5) 天敵やハチに影響が比較的少ない
水溶剤散布の場合、天敵のケナガカブリダニ、クモ類には影響がほとんどなく、またミツバチ(散布後6日目から放飼可能)、マルハナバチ(散布後10日目から放飼可能)、チリカブリダニ(散布後5日目から放飼可能)と影響が比較的少ないです。粒剤の場合、天敵への影響はほとんどありません。いちごの定植時植穴処理ではミツバチの開花時放飼には問題ありません。マルハナバチでは散布後20日目頃から放飼可能です。

【ベストガード水溶剤・粒剤の上手な使い方】

- 1) 耕種的防除と組合せる
 - ・施設の入口、側窓、天窓等に防虫ネットを設置する。
 - ・ウィルス病発病株を施設から除去し、処分する。
 - ・栽培終了後に施設の「蒸しこみ」処理を行い、虫を施設外に逃がさずに死滅させる。
- 2) 初期防除を徹底する
 - ・黄色粘着板による発生モニタリング等により、適期的に的確な薬剤散布を行う。
- 3) 粒剤・水溶剤の体系でより効率的な防除を行う

(鳥取)

[目次へ戻る](#)



今月のご相談から

誤認しやすい類似作物には どんなものがありますか？

Q：最近、「しゅんぎく」から適用のない農薬が検出されたとの報道がありました。これは、作物の名称や形状が似ている為に、生産者が誤って使用してしまったことが原因の一つではないかと言われているようです。そこで、「しゅんぎく」のように、誤認しやすい「類似作物」について教えてください。

A：本件については、平成22年12月15日付けで農林水産省から「農薬適正使用の徹底について」という通達が出されています。なお、ここでご紹介する以外にも誤認しやすい作物名がありますが、詳細は（独）農林水産消費安全技術センター（FAMIC）のサイトからご確認ください。<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/sakumotuhyou.htm>
なお、本「住友化学 i - 農力だより」の**お役立ちプチ情報**に「農薬登録の作物分類」について、4回シリーズ（NO.73～76）で掲載していますので、併せてご覧下さい。

<通達の抜粋>

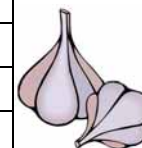
1. ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認すること。
2. 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているかを確認すること。
3. 作物の名称や形状が似ている作物については、適用作物を誤認して農薬を使用することがないように注意すること。以下の誤認しやすい適用作物例を参照。

誤認しやすい適用作物例

この他にも紛らわしい作物名が沢山ありますので、ご注意ください！



	作物名
1	ブロッコリー と 茎ブロッコリー
2	トマト と ミニトマト
3	ねぎ と わけぎ と あさつき
4	キャベツ と メキャベツ
5	しゅんぎく と きく と 食用ぎく
6	メキャベツ（子持ちカンラン） と 非結球メキャベツ（プチベール）
7	さくら と 食用さくら（葉）
8	てんさい と かえんさい
9	にんにく と 葉にんにく
10	未成熟とうもろこし と ヤングコーン（ベビーコーン）
11	しょうが と うこん
12	たまねぎ と 葉たまねぎ

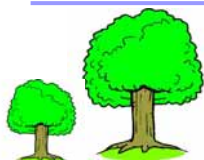


（注1） それぞれの農薬の適用は異なるものであり、例えば、「トマト」に適用の農薬であっても「ミニトマト」への適用がなければ、ミニトマトに当該農薬を使用することはできない。

（注2） 作物に適用があるかどうかは、必ず適用表を確認すること。

（小川）

[目次へ戻る](#)



お役立ちプチ情報

農薬登録の作物分類(4)

今月の話題は…

1)「樹木類」と適用農薬

公園、生垣、植栽に植えられている樹木は非常に多数の種類がありますが、現在登録されている農薬の適用作物をみると、個々の樹木で幅広く登録を取得している農薬は多くありません。これに対応できるものとして、「樹木類」という登録があります。「樹木類」の登録を持っている農薬は多くの樹木で薬効・薬害が確認された農薬ですが、すべての樹木（品種も含めて）での効果・薬害が確認されている訳ではありませんので、初めて使用する場合は、使用者の責任で、事前に小規模の散布で薬効・薬害を確認してから全体に散布してください。住友化学が現在販売している農薬の中で「樹木類」の登録を持っているのは下記の薬剤です。

- 殺菌剤
アンビルフロアブル、ベンレート水和剤、ボルドー(水和剤)
リゾレックス水和剤、ゲッター水和剤
- 殺虫剤
スミチオン乳剤、ダイアジノン水和剤34
- 除草剤
トレファノサイド乳剤

「樹木類」登録は樹木本体を守るための登録で、食用目的ではありません。例えば、「さくら」の樹そのものを守るためには「樹木類」登録で使用できますが、その葉を食用とする場合は「野菜類」あるいは「食用さくら(葉)」に登録がある農薬だけが使用できます。「樹木類」で登録されていても使用できません。

2)「樹木等」と適用農薬

間違い易い登録に「樹木等」があります。これは除草剤の登録に関わるものです。公園、駐車場、運動場等の雑草防除に使用しますが、樹木の近くや植栽地では使用できず、樹木から離れた周辺地の雑草防除に適用のある剤の登録を示すものです。

住友化学が現在販売している農薬の中で「樹木等」の登録を持っているのは下記の薬剤です。

- デゾレートA、デゾレートAZ粉剤、デゾレートAZ粒剤
- トレファノサイド乳剤
- ハービック粒剤

次回の話題は「**農薬の散布量**」です。各作物での散布量を解説します。

(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報 3月28・29日の主な新規登録・適用拡大の内容です

新規登録 平成23年3月29日登録
〔殺虫剤〕ディアナWDG 農林水産省登録 第22909号

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数	スピネトラムを 含む農薬の 総使用回数
りんご	キンモンホリガ シンクイムシ類 ハマキムシ類	5000～ 10000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	散布	2回以内	2回以内
なし	シンクイムシ類						
もも	モモハモグリガ						

〔殺虫剤〕ディアナSC 農林水産省登録 第22910号

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数	スピネトラムを 含む農薬の 総使用回数
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	散布	2回以内	2回以内
なす	アザミウマ類	2500倍					
キャベツ	コナガ アオムシ タマナキンウバ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2500～ 5000倍					
	ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ					
レタス 非結球 レタス	ナモグリバエ	2500～ 5000倍					
いちご	アザミウマ類						
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホリガ チャハマキ ヨモギエダシヤク						

〔殺虫殺菌剤〕スタウトダントツディアナ箱粒剤 農林水産省登録 第22912号

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネツトムシ フタホヒコヤガ ニカメイチュウ コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5L) 1箱当り 50g	移植3日前～ 移植当日	育苗箱の上から 均一に散布する	1回
	イネミスゾウムシ		移植当日		

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	スピネトラムを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (移植時までの処理は 1回以内、本田での散布、 空中散布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)	1回	3回以内 (移植時までの処理は 1回以内、本田では 2回以内)

適用拡大 平成23年3月28日登録

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか	
殺虫剤	プレオフロアブル	作物名変更	「えだまめ」 「さやえんどう」 「豆類(未成熟)」 に変更	ハスモンヨトウ	1000倍 100～300 L/10a	収穫前日まで 2回以内 散布

(佐伯)

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

4 / 6 ~ 13

北海道

* 3月16日 特殊報 水稻 / イネいもち病

当社登録薬剤: ベンレート水和剤

* 3月24日 特殊報 小麦(秋まき小麦) / コムギ萎縮病

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

(注) 3 / 16及び24日発令の特殊報は、JPP - NETからは4 / 8付けで発表されました。

**三重県**

* 4月13日 特殊報 トルコギキョウ / トルコギキョウ葉巻病(タバコナジラミにより媒介)

当社登録薬剤: ベストガード水溶剤(花き類・観葉植物 / コナジラミ類)

詳細は: <http://www.mate.pref.mie.jp/bojyosyo/>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)**アンケート当選者発表**

アンケートにお答え戴いた i-農力会員の皆様、大変ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を反映し、本誌を充実させていきますので、どうぞご期待ください。また、厳正な抽選の結果、以下の方が当選されましたので発表します。おめでとうございます。

たくさんのご応募
ありがとうございました！！

「りんご」当選の皆様(会員番号)

AH0147、AH0360、NA0202、NA0394、NA0479、NA0704
NA0747、NA0977、NA0980、NA1228、NA1361、NA1618
NA1757、NA2175、NA2224、NA2242、NA2270、NA2349
NA2450、NA2463、NA2566、NA2736、NA2766、NA2820
NA2893、NA2940、NA2944、NA2948、NA3066、NA3067
(以上、30名様)

「デコボン」当選の皆様(会員番号)

AH0338、AH0368、AH0463、NA0032、NA0080、NA0127
NA0326、NA0566、NA0879、NA0891、NA0959、NA1211
NA1219、NA1449、NA1555、NA1604、NA1666、NA1714
NA1815、NA1861、NA2053、NA2421、NA2574、NA2688
NA2806、NA2809、NA2833、NA2963、NA3033、NA3047
(以上、30名様)



抽選風景

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

思い返せば、現実逃避だったかも？

**このたびの地震で被災された皆様には
心よりお見舞い申し上げます。**

最初の大地震が起きて同僚とともに社内泊をしてから、すでに1ヶ月以上が過ぎました。今から思えば、その後から私は「少しおかしくなっていた」のだと思います。というのも、あの日から、普段じゃあり得ない勢いで調理をし、大量の作り置きを作り続けるという日が続いたからです。なにしろ計画停電で、お店が仕事帰りだと営業していないことも多く、また、日によっては夜10時頃まで停電する日もあるという現実ですから、休日にとにかく食材を買って、その日のうちにその食材をさばいて調理し、平日食べられるように作っておくという具合。今考えると、この時は本当に何かにとり憑かれたようにいろいろな種類の料理を作りました。

たとえば、地震が起きた日は金曜日でしたが、その後の土日にある程度食材を買い込んで(レジはすごい列でした)それ以前に冷蔵庫に残っていた食材と合わせて、一気に写真のようなものを作りました。これを少しずつ平日に食べていくわけですが、いろいろ作りすぎて自分でも把握できなくなる始末。でもその勢いをどういっわけか止めることができず、次の週も同様に週末にどどーっと作って、平日に切り崩していく作戦を続けました。

最近は暖かくなってきて計画停電も行われなくなってきました。相変わらず仕事帰りにお店に立ち寄るのは難しいことが多いですが、夜帰ってからも料理ができるようになったので、休日にストックを作っておかなくちゃ!という焦燥感はさすがになくなってきました。それとともに、精神的にも落ち着いてきたのか以前のペースを取り戻してきた感じがします。考えてみると大量ストックを作っている時は、いつもより落ち着きがなく、手元がおぼつかないため、作業も大雑把になっていたような気がします。同時に、集中力も散漫で順序だてて効率よく作業が出来ないことが多かったのです。たぶん、ずっと精神が昂ぶっていたのだと思います。

また「休日に作っておかなくちゃ!」という焦燥感や精神が昂ぶっていたにせよ、料理という作業をすることでちょっとした現実逃避していたのも事実。地震当初は余震や計画停電、原発不安で、精神は落ち着くはずも無く、ずっとソワソワ、たまった仕事も片付かないのに、現実のことじゃないみたいでまるで他人事のような感じでした。そんな時は「じっとしてられない=何かしてれば落ち着く」というわけで、私の場合、料理(とか食器洗い・お風呂掃除など)に逃げ込んでいたみたいです。

しばらくは余震が続くと聞きます。とはいえ、もう「ヘコんで」ばかりもいられません。少しずつでも、前を向いて進みたいと思います。今後も本コーナーをよろしくお願いします!

(佐伯)



これだけ作っておけばなんだか安心



加えて大量のお味噌汁!!

[目次へ戻る](#)

~ New ! 編集後記 ~



今年も桜が咲きました。この編集後記を書いている4月13日現在で東京本社の真横にある隅田川沿いの桜は、満開を過ぎハラハラと桜吹雪となって美しい姿を見せてくれています。私は、青空を背負って誇らしげに咲く桜並木の下を毎日出勤しますが、今年は少し前までいつもと違う気持ちで桜を見上げていました。まだ心から、桜が咲いたことを喜ぶ「のどかな気持ち」になれなかったからだと思います。なんだかグレーの薄いサングラスを通して見ているかのようなのです。

今回の地震で春の訪れすら素直に喜べない自分がいることと、それを客観的に観察する自分とで、少し戸惑っていたところ、友人がお花見に誘ってくれました。今年は下町「亀戸公園」でのお花見です。よく晴れた日曜日に友人総勢20名ほどが集まって、公園内に咲き乱れる桜をかみしめました。持ち寄ったものの中には、宮城県のアンテナショップで買ってきたという宮城県の地酒や、ホヤの薫製、牡蠣の薫製なんかもあって被災地応援ムードも高まっていました。夕方になってそろそろお開き・・となった時に、今回声をかけてくれたお花見の主催者の友人がこんな挨拶をしました。「何の疑いも無く見られると思っていた桜を、見られなかった人たちの分まで、今日僕たちは桜を見ることができました。集まってくれた皆さんありがとう。」

そのお花見の次の日から、少しずつ本来の「のどかな気持ち」が蘇ってきた気がします。今、東京の桜は散りつつあるけれど、桜前線は確実に北上中！次は東北の皆さんの番です。せめて、桜を見る間だけでも、心安らかにいられることをお祈りします。また、来年、すべての人が心から桜を楽しむことを願ってやみません。

(佐伯)

先月の本誌は、震災後まもなくのネットワーク負荷に考慮し、内容を絞ってお送りしましたが、その後、ネットワーク環境については特に問題が発生していないため、今月は通常の内容でお送り致します。

今月の農家さん訪問記は、2月に取材したガーベラ農家の緒方さんのインタビューです。先月、3月号の掲載を予定して準備を進めていたときに大震災が発生し、掲載が今月に変更になりました。現在、震災から1ヶ月半が経過しましたが、震災に伴う様々な問題は現在も進行中です。問題が長引く中、被災地はもちろん、被災地以外でもメンタル面の問題が指摘されています。こんな時こそ、心を和ませてくれる花の役割は大きいように思います。

さて、4月25日(月)に、i農力ホームページを全面的にリニューアルしました。お探しの情報を迷わずに見つけていただけるよう、見やすく、分かりやすいホームページを目指して検討を重ね、現在の形に仕上げました。新しくなったi農力ホームページを是非ご利用下さい。

今回の改善にあたり、これまでに皆様から頂いた様々なご意見・ご要望を参考にさせていただきました。改めてお礼を申し上げます。これからも、より良いホームページを目指して改善していきますので、引き続きご意見を宜しくお願い致します。



なんの脈絡もありませんが・・・水浴びする小鳥
(南撮影)

次月号の - 農力だよりは
5月31日(火)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！

(南)

[目次へ戻る](#)